

<第6時>

(1) 本時の目標

- 自分たちが考えた朝食について、分かりやすく説明することができる。 (知識・理解)
- 家庭での実践に向けて、各グループからのアドバイスを参考に、「わたしの自慢の朝食」を考えることができる。 (工夫・創造)

(2) 本時の学習指導過程

過程	学習活動	教師の指導・支援	評価とその支援
課題の把握	1 各グループの課題を確認する。	(1) 前時までの活動を賞賛することにより、本時の学習への意欲を高めるようにする。	
	2 本時の課題を確認する。	(2) 1時間の流れを簡単に説明することにより、学習の見通しをもたせる。	
各グループからのアドバイスを参考に、「わたしの自慢の朝食」を考えよう。			
課題解決の準備・実践	<p>3 グループの課題を基に作成した朝食について発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発表時間は2分間とし、グループの中の一人が、他のグループに発表に向く。</li> <li>・ 聞く側は2色の付せん（参考になった点：黄色，アドバイス：ピンク）記入し、発表者に渡す。</li> </ul> <p>4 他グループからのアドバイス（付せん）を参考に、各自で「わたしの自慢の朝食」を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 献立</li> <li>・ おすすめポイント</li> <li>・ 作る時に気を付けること</li> </ul>	<p>(3)-1 充実した発表会にするために、発表の方法やマナーについて確認する。</p> <p>(3)-2 発表内容は、自分たちの課題と、調査した内容・献立・工夫点などとし、説明用資料を使って時間内に分かりやすく発表するように助言する。</p> <p>(3)-3 自分の朝食づくりに生かせることを見付けながら発表を聞くように促す。</p> <p>(3)-4 発表者へのアドバイスは、前時までにグループで調べた内容を基にするとよいことを伝える。</p> <p>(4)-1 グループの献立を大幅に変更するのではなく、食材や調理法などを修正することにより、「わたしの自慢の朝食」を考えることを伝える。</p> <p>(4)-2 修正した献立については、食品群別摂取量のめやす（教科書 p32, 33に記載）を用い、栄養のバランスを確認するよう指示する。</p>	<p>【知識・理解イ】 実習を基に、他グループへの説明ができる。 〈観察〉 ※支援…発表内容説明のための台本（枠のみ）を準備する。</p> <p>【工夫・創造ウ】 食品の組み合わせや栄養バランスのよい「わたしの自慢の朝食」献立を考えることができる。 〈ワークシート〉 ※支援…家庭での「朝食づくり調査」を参考にさせる。</p>

評価・実践化	5 「わたしの自慢の朝食」を発表する。	(5) 「朝食づくり調査」における家庭からの「わたしへのアドバイス」を紹介し、家族の思いに触れさせることにより、家庭での朝食づくりの実践を促す。	
	6 ワークシートの「学んだこと」を記入する。	(6) これまでの学習の成果を確認し、これからの食生活に生かすように意識付ける。	